

立憲の踏台 共産党

一面新聞

野党連立政権に関する立憲民主党と共産党の主張

2020年3月26日

志位和夫「連合政権が発足したら自衛隊や天皇制などに関する党の見解にはこだわらない。連立政権で共産党から入閣した閣僚は自衛隊、日米安保、天皇制などは政府に従う」

2020年9月16日

枝野幸男「**政権交代を実現させるために自分を首班指名して下さい**」

志位和夫「自公政権に代わる**野党連合政権を作ってくために枝野代表に投票**する」

枝野幸男「協力に感謝するが、連合政権については協議・検討」

21年4月

共産党幹部「(選挙で野党共闘しつつ共産外しされてるが)仏の顔も三度までだ。次はない」

21年4月27日

志位和夫「政党間の**共闘は対等平等、相互尊重が大事**だ」

21年5月25日

志位和夫「**選挙協力してほしいなら連合政権合意が条件**」

21年6月17日

枝野幸男「**連携や候補者の一本化したいが共産との連立政権は考えていない**」

志位和夫「門戸が閉ざされたと考えていない」

21年6月18日

枝野幸男「天皇制や自衛隊や日米安保棚上げの**共産党との(連立)政権はすぐ倒れる**。ただ連立政権を組まないことと連携しないことは全然意味が違う」

共産党が選挙協力するなら連合政権が条件と立憲に対等な関係を要求するも、

枝野幸男は『連立政権は考えてない』『共産党と組んだ政権は直ぐに倒れる』と拒否しつつ、

『選挙協力はしたい』『連携しないとは違う』と自分の利しか考えてない主張。あまりのも身勝手では？

令和3年
6月19日(金)

発行者
DAPPI

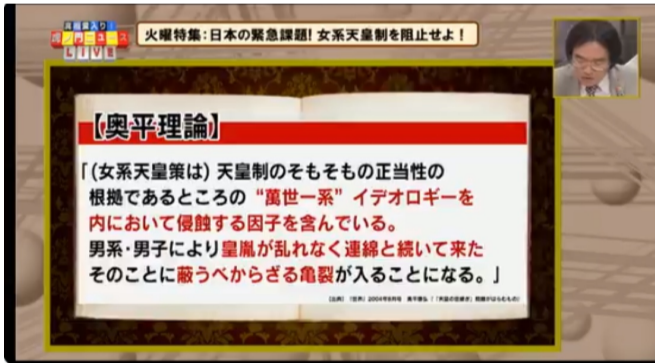


第182号



報道回想録

虎ノ門ニュース(2021年6月22日 DHCテレビ) 女系天皇は悠仁親王廃嫡論



6月22日に放送された虎ノ門ニュースにジャーナリストの門田隆将氏が出演し『立憲民主党や共産党や朝日新聞・毎日新聞など反日メディアが主張してる女系天皇制(長子継承)は事実上の悠仁親王廃嫡論』と警鐘を鳴らした。

門田氏は「女系天皇制だと愛子さまが女系天皇となるが長子継承していくと愛子様の子→佳子様→佳子様の子→悠仁親王殿下の順となるので実質的に悠仁親王廃嫡論。これを言っただけの勢力が立憲民主党や共産党などの特定野党や朝日新聞・毎日新聞など反日メディアは言い続けた。もし女系天皇が実現すると結婚相手次第では天皇が中国系・韓国系になってしまう」と女系天皇制の問題点を指摘。

また「天皇制廃止を主張してた共産党が【女系天皇に賛成】と言い出したのは共産党の理論的支柱である奥平康弘氏の“女系天皇をすることで連綿と続いてきた男系男子の皇胤に亀裂を入れれば内側から潰せる”と女系天皇が実現すれば皇室を内側から葬れると潰せるという奥平理論を考えたから。だから朝日新聞や毎日新聞は日本解体のためにが一生懸命に女系天皇を主張してる」と指摘した。

注目のインターネット情報

医師会はコロナで国に貢献してない



竹田恒泰「結局、医師会はコロナで殆ど国に貢献してない。むしろ『受入しない』と逃げただけで、開業医の利益を守る圧力団体に成り下がった。打ち手不足なのに輪番対応はせずに知らぬ存ぜぬ。医師会は何を出来るか考えてない」

日本医師会は批判だけでコロナ対策に非協力だったことは忘れてはいけない



午後3:28 · 2021年6月21日 · Twitter Web App

2021年6月21日 (虎ノ門ニュース)